

● 道徳教育推進教師を中心としたカリキュラム・マネジメントの取組

本年度は、「道徳教育全体計画（別業）」の様式を一新し、道徳推進教師を中心に全教職員で内容の充実を図っている。また、各学年で「総合単元的な道徳学習プログラム」を計画・実施するなど、カリキュラム・マネジメントの視点を持って道徳教育を推進している。

道徳教育全体計画（別業）の工夫改善

今年度より、道徳教育全体計画（別業）の効果的な活用を目指し、内容項目ごとに各教科等との道徳教育との関連の明確化を図るために、下の図のように様式を一新しました。これを基に総合単元的な道徳学習プログラムを計画しています。

2年生		国語	社会	数学
(1) 自主、自律、自由と責任	内容項目ごとに各教科等との関連を表で整理		【日本の様々な地域】(7月) 【日本の諸地域】(9月～2月) 様々な課題について自由な考えをもち、責任ある発言ができる。	
(2) 節度、節制				
(3) 向上心、個性の伸長		【見えないだけ】(4月) 詩を朗読しながら自己との対話を深めつつ、自分自身のよさを伸ばしていくようにする。		

【単元名】(実施時期) どのように関連するのか具体的に記入

上記の様式で道徳教育全体計画（別業）を作成する利点

- ① 各教科で扱う内容項目が整理されているので、道徳科の指導の際に参考になる。
- ② 実施時期を参考にすることで、小単元の設定に役立つ。
- ③ 教育活動の中で扱う機会が多い内容項目とそうでない内容項目が視覚化されることにより、道徳科で特に重点を置いて指導すべき内容が明確になる。
- ④ 各教科等における道徳教育との関連を明確にすることにより、各教科等の年間指導計画の「道徳教育との関連」欄の内容を見直す機会となる。

「総合単元的な道徳学習プログラム」の計画・実施

道徳科におけるカリキュラム・マネジメントの一環として、学年ごとに「総合単元的な道徳学習プログラム」を設定し、本時の授業と各教科・領域等との関連を系統的に示しています。

